

市民公開講座「加齢による耳と目の病気と最新治療」

1. 主 催：日本学術会議臨床医学委員会感覚器分科会
2. 後 援：一般社団法人日本耳鼻咽喉科学会、公益財団法人日本眼科学会
3. 日 時：平成 25 年 5 月 18 日（土） 15：00～17：00
4. 場 所：ロイトン札幌 1階「キャッスル」
〒060-0001 北海道札幌市中央区北1条西11丁目

5. 開催趣旨：

人間が外部から得る情報のほとんどは耳と目を介してであることから、これら感覚器は人体の非常に重要な器官といえる。しかしながら、一般にその重要性が十分に認識されているとはいえない。我が国は世界にも類をみない超高齢社会を迎え、加齢による感覚器の障害は、それに係る保障費や労働人口の損失等による経済面からも非常に重要な社会的課題となっている。また、耳や目が年をとっても健康であることは、高齢者の quality of life に欠かせない。臨床医学委員会感覚器分科会では、感覚器の重要性と正しい知識を啓発し、国民の健康の増進に寄与するために、毎年、市民公開講座を開催している。今回は、初めて北海道で開催することとした。加齢によって生じる耳と目の代表的な病気について取り上げ、その病態や最新の治療法について分かりやすく解説することを目的とした。さらに地方都市での開催ということも考慮して、過疎地域での遠隔医療の実際についても紹介したいと考えている。

6. 次 第：

- 15：00～15：05 開会の挨拶
本田 孔士（日本学術会議連携会員、京都大学名誉教授（眼科））
- 15：05～15：30 再生医療による難聴の治療
伊藤 壽一（日本学術会議連携会員、京都大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科教授）
- 15：30～15：55 テレビでも話題となった耳管開放症とは
小林 俊光（日本学術会議連携会員、東北大学名誉教授（耳鼻咽喉科・頭頸部外科））

15 : 55～16 : 05 休 憩

16 : 05～16 : 30 加齢黄斑変性について

坂本 泰二（日本学術会議連携会員、鹿児島大学医学部眼科教授）

16 : 30～16 : 55 遠隔医療システムで実践している高齢者の眼科診療

吉田 晃敏（旭川医科大学学長／旭川医科大学眼科教授）

16 : 55～17 : 00 閉会の挨拶

八木 聡明（日本学術会議連携会員、日本耳鼻咽喉科学会理事長、
人間環境大学学長）

7. 参加費：無料（事前参加申し込みの必要はありません）

8. 問い合わせ先：感覚器分科会市民公開講座係

101-8346 東京都千代田区猿楽町 2-4-11-402

公益財団法人日本眼科学会内

TEL : 03-3295-2360 FAX : 03-3293-9384

E-mail : jos2@po.nichigan.or.jp